

第20回 いわて希望ファンド 第17回 いわて農商工連携ファンド

公募中です
7/28[月]まで
希望ファンド小規模事業者枠は
7/22(火)まで

いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取り組みにより、地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新、中心市街地活性化に向けた取り組みなどについて、助成金交付による総合的な支援を行います。

起業・新事業活動支援事業

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取り組みを支援

●新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、それに伴う市場調査・動向調査、人材養成等

対象者	●創業する者 ●中小企業者		●特定非営利活動法人(NPO法人) ●農事組合法人等	
	①一般枠 起業または新事業に取り組む事業者	②地域資源活用枠 地域資源を活用する事業	③経営革新枠 経営革新計画の承認を受けた事業	④小規模事業者枠 従業員5名以下の事業所で起業または新事業に取り組む事業者
助成限度額	300万円	300万円	500万円	150万円
助成率	1/2	2/3	3/4	3/4
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))			

中心市街地活性化支援事業

中心市街地や商店街活性化に向けての革新的な以下の取り組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発又は企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用～

対象者	●中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者 ●小売・サービス業を営む県内に住所のある中小企業者等 ●商工会、商工会議所、商店街振興組合、事業協同組合 ●知事が適当と認める特定非営利活動法人(NPO法人)	
	助成率	助成期間
助成率	9/10 (店舗賃借料については、「店舗賃借料/月×月数(助成対象期間×1/3)」の算式によって算出された額の9/10)	1年間(※継続3年以内(毎年審査))
助成限度額	250万円	

支援機関による 支援事業

中小企業者が実施する
起業・経営革新等を支援する事業を行う支援
機関の取り組み支援

第19回いわて希望ファンド地域活性化支援事業採択一覧

第19回いわて希望ファンド地域活性化支援事業について、平成26年5月21日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。(6月16日現在)

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
地域資源活用枠	株式会社山の屋	盛岡市	いわて地鶏「源流地鶏南部かしわ」の生産から加工・販売まで、6次産業への新たな挑戦。独自の商品開発により開発により新しい地鶏の提供方法・販売手段を確立させ全国へ販売拡大(継続2年目)
	岩手県産株式会社	矢巾町	「岩手PB商品の開発による岩手ブランド強化と売上拡大」(継続2年目)
	及川冷蔵株式会社	大船渡市	復興記念「新しい海鮮みやげ開発及び三陸おせちのバージョンアップ事業」(継続2年目)
	有限会社多田自然農場	遠野市	「海外市場から評価される本格的な乳製品の製造と販路開拓」
	農事組合法人宮守川上流生産組合	遠野市	「どぶろく」の品目拡大と販売力強化
小規模事業者枠	大西ファーム株式会社	二戸市	自社農産物と岩手県産品を使った、健康に良い加工食品の開発と構築
	古館製麺所	軽米町	「県産小麦を使用した「生そうめん」の商品改良と、販路の開拓」
	株式会社ループラス	紫波町	「女性のための防災用品セットの開発と販路開拓」
	株式会社リード	二戸市	「ほっと安心帽」に使用する衝撃吸収デバイスの新タイプ開発及び製品プロトタイプ作成
経営革新計画枠	有限会社清水川養鱒場	八幡平市	自社ブランド虹鱒「八幡平サーモン(R)」販路拡大のための一次加工品、水産加工品の開発・販路開拓及び活締め神経抜き等の研究・技術導入
	合同会社しづか亭	平泉町	「パトタッチ式農業体験及び加工体験サービスの提供による固定客の確保」(継続2年目)
中心市街地活性化支援事業	合同会社リグループ	八幡平市	グリーンエネルギー活用による馬糞堆肥の開発とオーガニック野菜の栽培と販売
	花巻商工会議所	花巻市	観光客をターゲットとした「ひえカレー」の提供によるまちの活性化事業(継続2年目)
	台温泉湯の里振興協同組合	花巻市	花巻温泉郷・台温泉の地域ブランド向上による温泉街活性化(継続2年目)
	一戸町商工会	一戸町	縄文のまち一戸にぎわい創出事業
支援機関による支援事業	おおふなと夢商店街協同組合	大船渡市	おおふなと夢商店街交流広場開設事業(継続2年目)
	(公財)岩手県観光協会(1)	盛岡市	「外国人観光客受入態勢整備による海外市場開拓支援・経営革新支援」
	(公財)岩手県観光協会(2)	盛岡市	「おもてなしの向上と経営革新を目指す人材育成」

いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携(農商工連携)を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

起業・新事業活動支援事業

中小企業者と農林漁業者が連携をして行う下記の事業を支援

- ①新商品等開発支援事業(新商品・新技術・新役務の開発事業)
 - ②販路開拓等支援事業(販路開拓事業)
- ～新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、それに伴う市場調査・動向調査、人材養成等～

対象者	●県内の中小企業者と農林漁業者の連携体 ⇒農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行うもの及びこれらの組織する団体(農協、森林組合、漁協、連合会も可) ●中小企業者以外で、県内のNPO等と農林漁業者の連携体
助成率	4/5
助成限度額	600万円 (農商工等連携事業計画の認定を受けている場合は助成限度額1,000万円)
助成期間	1年間 (※継続3年以内(毎年審査))

支援機関による支援事業

農商工連携による起業・新事業活動等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

●農商工連携の基本的要件

1 有機的連携

中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること
◆「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します。
◆「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的、かつ有効に用いられていることを指します。

2 新商品の開発等

事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産または需要の開拓が実現すること
◆「新商品若しくは新役務(サービス)」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品または役務であることが必要です。

●農商工連携の事例～お菓子の開発～

中小企業者(菓子メーカー)

もち米である古代米、低アミロース米の米粉を使用し試作品の製造、サイズ・パッケージ共に平泉に結びつけるデザインの製作。展示会における市場調査、販路拡大活動を行う

新商品開発!



連携
それぞれが
工夫を凝らした
取り組み!

農林漁業者(農業者)

古代米を米粉に加工(品種の選定と製粉条件)。低アミロース米、うるち米といった食感の異なる原材料も検討。事業化された事により古代米に新たな活用・販路が生まれた

平泉の「世界文化遺産」登録を目前に商品開発を構想。「平泉」と「古代米」という共通した歴史イメージをもつ素材を組み合わせることで考案された事業化に至った。商品名・パッケージデザイン等も同様のイメージから発案された。

第16回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業採択一覧

第16回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業について、平成26年5月22日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
起業・新事業	株式会社門崎 (連携者:農事組合法人門崎ファーム)	一関市 (一関市)	門崎まるごとブランディング戦略(継続2年目)
	株式会社和かな (連携者:有限会社田村牧場)	盛岡市 (久慈市)	田村牧場で飼育された「たむら短角牛」を、「南部赤べこ」(商標登録済)としてブランド化するための加工・販売・流通方法等の開発

●手続きの流れ



お問い合わせお申し込みは 産業支援グループ (いわて希望ファンド担当/福島・高橋 いわて農商工連携ファンド担当/伊藤利光)
TEL019-631-3824 FAX019-631-3830 メール johoh@johoh-iwate.or.jp